

「消防設備士甲種／乙種第4類 合格教本」正誤表

お詫びと訂正

本書の掲載内容に下記の誤りがございました。読者の皆様、および関係者の方々にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

ページ	詳細箇所	書籍の内容（誤）	変更内容（正）
19	練習問題①	その管轄から市町村長である。	その管轄の市町村長である。
20	理解のポイントの3行目	消防施行令別表第一	消防 法 施行令別表第一
20	理解のポイントの4行目	53 ページ	52 ページ
21	理解のポイントの1行目	複合用途に1つでも	複合用途 防火対象物 に1つでも
23	④の本文1行目	危険物とは、消防法（法別表第1）の	危険物とは、消防法（別表第1）の
25	⑤の本文6行目	関係のある場所に立ち入って	関係のある場所に立ち入 らせて
25	もう一度チェックの3行目	立ち入り検査をする。	立ち入り検査を 命じる 。
32	理解のポイントの3行目	3階以上の階に用途部分があり	3階以上の階に 特定防火対象物 の用途部分があり
32	②の本文下から2-1行目	消防長（消防本部のない市町村は市町村長）消防署長へ	消防長（消防本部のない市町村は市町村長） または 消防署長へ
33	グレー囲み1行目	点検の期間	報告 の期間
33	理解のポイントの1行目	300：消防用設備の検査が必要になる延べ面積。	300 m² 以上：消防用設備の 設置届を提出して 検査が必要になる延べ面積。
33	理解のポイントの2行目	1,000：消防用設備の点検・報告が必要になる延べ面積。	1,000 m² 以上： 有資格者（消防設備士または消防設備点検資格者）が行う点検 が必要になる延べ面積。
33	理解のポイント4行目	特1・他3：特定防火対象物の点検は1年に1回、その他は3年に1回。	特1・他3：特定防火対象物の 報告 は1年に1回、その他は3年に1回。
33	練習問題②	消防設備の設置届けを	消防設備の 着工届 を
33	練習問題②の解答	着工届けの提出は	着工届の提出は
34	本文の下から2行目	住宅防火推進協議会	住宅防火 対策 推進協議会
35	表「免状の種類」	表内「電源」…「泡消火設備」の「第2類」のみ	「泡消火設備」の「第2類」～表の最後まで該当
35	表「免状の種類」	「パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備」が第1類のみ	「第1類」～「第3類」まで

p. 35 表「免状の種類」を以下の表に変更をお願いします。

変更内容（正）

免状の種類別	指定区分	対象設備	除外の工事、整備
甲	特類	特殊消防用設備等	
甲・乙	第 1 類	屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、屋外消火栓設備	電源・水源・配管
甲・乙	第 2 類	泡消火設備	電源
甲・乙	第 3 類	不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備、粉末消火設備	
甲・乙	第 4 類	自動火災警報装置、ガス漏れ火災警報装置、消防機関へ通報する火災報知設備	
甲・乙	第 5 類	金属製非難はしご、救助袋、緩降機	
乙	第 6 類	消火器	
乙	第 7 類	漏電火災警報器	
甲・乙	第 1 類	パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備	
	第 2 類		
	第 3 類		

ページ	詳細箇所	書籍の内容（誤）	変更内容（正）
36	練習問題①の 1-2 行目	型式は不要である。	型式承認は不要である。
36	練習問題②	消防設備士甲類 4 種を	消防設備士甲種 4 類を
40	問題 12 の 1 行目	権限が分かれている（複数の管理権限者がいる）	権原が分かれている（複数の管理権原者がいる）
41	問題 16 の 7 行目（選択肢 4 の 1 行目）	その他の特定防火対象物	その他の防火対象物
41	問題 17 の 4 行目（選択肢 2 の 1 行目）	指定した 1,000 m ² 以上が 3 年に 1 回	指定した 1,000 m ² 以上のものが 3 年に 1 回
44	問題 12 の 3 行目	消防署長が指定は不要	消防署長の指定は不要
45	問題 12 の下から 2 行目	複合用途防火対象物です、	複合用途防火対象物です。
50	表「▼自動火災報知設備の設置基準」、「例外」の列の 1 項目め	蒸気浴場	蒸気・熱気浴場
50	表「▼自動火災報知設備の設置基準」の下から 1 行目	通信機器室 300 m ² 以上	通信機器室 500 m ² 以上

ページ	詳細箇所	書籍の内容（誤）	変更内容（正）
51	理解のポイントの3行目	300	300 m ² 以上
51	理解のポイントの4行目	500	500 m ² 以上
51	理解のポイントの5行目	11階	11階以上
56	(2)通信機器室の1行目	床面積 300 m ² 以上で	床面積 500 m ² 以上で
57	本文2行目	煙感知器の設置義務場所を除きます。	煙感知器の設置義務がある場所を除きます。
57	もう一度チェックの3行目	100 m ² に注意。	100 m ² 以上に注意。
61	(6)の見出し	(6) 高層の防火対象物	(6) 高層の防火対象物の階段室
61	(6)の本文1-2行目	防火対象物が高層で階数が多い場合は、	防火対象物が高層で階数が多い場合の階段室は、
62	練習問題の③の解答	×	○
64	表「感知器ごとの設置原則」の表内「煙感知器」→「スポット型すべて」の「空気吹出口」	1.5m以上離す	表内「煙感知器」→「スポット型すべて」と「上記以外」にかかる
64	表「感知器ごとの設置原則」の表内「光電式分離型」の「吸気口」	吸気口付近 ※吸気口が天井付近にある場合	—

p. 64 表「感知器ごとの設置原則」を以下の表に変更をお願いします。

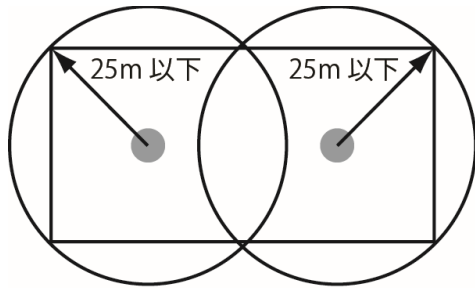
変更内容（正）

種別		傾斜	空気吹出口	吸気口	取付面	壁・はり
熱感知器	差動式分布型	5度以上は×	—	—	面の下方 0.3m以内	—
	スポット型すべて	45度以上は×	1.5m以上離す			
	上記以外	—				
煙感知器	光電式分離型	90度以上は×	—	吸気口付近 ※吸気口が天井付近にある場合	面の下方 0.6m以内	0.6m以上 離す
	スポット型すべて	45度以上は×	1.5m以上離す			
	上記以外	—				
炎感知器	すべて	90度以上は×	—	—	面の下方 0.3m以内	—

ページ	詳細箇所	書籍の内容（誤）	変更内容（正）
68	図の下の注意書き	主要構造部が耐火構造だった場合の数値	主要構造部がその他の構造だった場合の数値
69	上から2行目	温度の上昇を感知して差動します。	温度の上昇を感知して作動します。

ページ	詳細箇所	書籍の内容（誤）	変更内容（正）
69	(3)熱感知器を設定できない場所の本文下から2行目	差動式分スポット型	差動式スポット型
69	⑥の「(2)設置基準」の本文2行目	高さ2.3m以下	高さ2.3m 未満
72	①の(2)の本文4行目	受信機を取り付ける高さは	受信機の 操作スイッチの高さは
74	ページ下の図版		変更

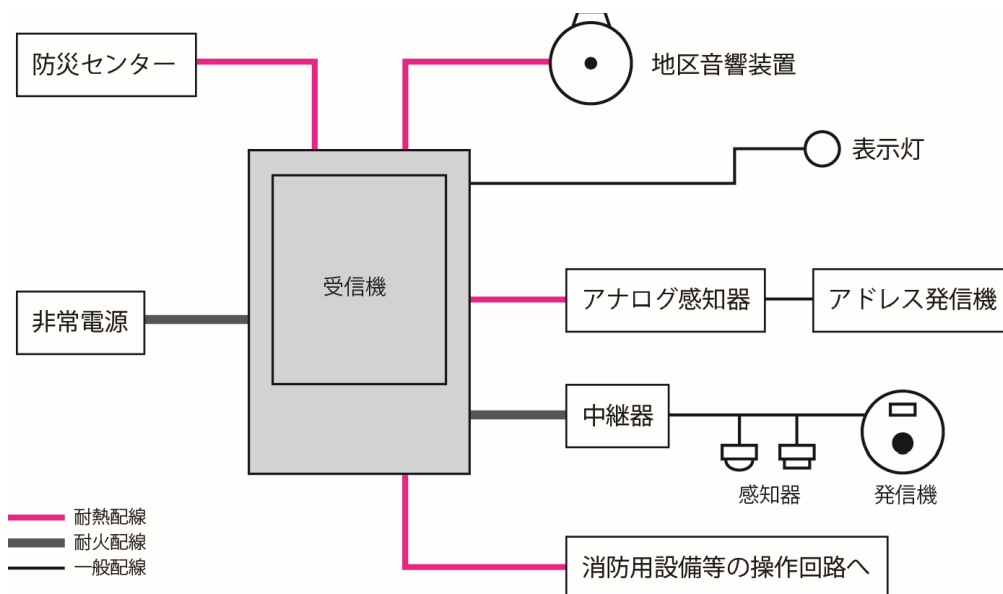
p. 74 の図を以下の図に変更をお願いします。



● ベルまたはスピーカー

ページ	詳細箇所	書籍の内容（誤）	変更内容（正）
74	①の4行目	延べ面積3,000㎡以上の	延べ面積3,000㎡を 超える
75	練習問題②の解説	1階で火災が発生した場合は、2階と地下全階が鳴動しなければなりません。	地上5階、地下3階のビルですので、区分鳴動の条件にはあてはまりません。
79	表組右側の3行目	ただし、保液の必要のないものは	ただし、 補液の必要のないものは
81	ページ上の図版		変更

p. 81 の図を以下の図に変更をお願いします。



ページ	詳細箇所	書籍の内容 (誤)	変更内容 (正)
84	問題 5 の 1 行目	自動火災報知設備をしなければならない	自動火災報知設備を 設置 しなければならない
84	問題 5 の 4 行目 (選択肢 2)	90 m ² 料理店	90 m ² の料理店
91	問題 7 の解説の 4 行目	床面積 300 m ² 以上	床面積 500 m ² 以上
91	問題 7 の解説の 5 行目	200 m ² 以上駐車場	200 m ² 以上の 駐 車場
91	問題 7 の解答	3	1 、3
93	問題 17 の参照ページ	70 ページ	69 ページ
96	右上端の写真キャプション	定温式分布型熱感知器	差動式 分布型熱感知器
97	表「感知器の種類」		

p. 97 の表「感知器の種類」を以下の表に変更をお願いします。

変更内容 (正)

熱感知器	差動式	スポット型 (1 種、2 種)	
		分布型	空気管 (1 種、2 種、3 種)
			熱電対 (1 種、2 種、3 種)
			熱半導体 (1 種、2 種、3 種)
	定温式	スポット型 (特種、1 種、2 種)	
		感知線型 (特種、1 種、2 種)	
熱複合式	スポット型	多信号機能	
補償式	スポット型 (1 種、2 種)		
熱アナログ式	スポット型		
煙感知器	イオン化式	スポット型 (1 種、2 種、3 種)	
	光電式	スポット型 (1 種、2 種、3 種)	
		分離型 (1 種、2 種)	
	煙複合式	スポット型	
	イオン化アナログ式	スポット型	
光電アナログ式	スポット型		
	分離型		
多信号感知器	—		
熱煙複合式	—	スポット型	
炎感知器	紫外線式	スポット型	
	赤外線式	スポット型	
	紫外線赤外線併用式	スポット型	
	炎複合式	スポット型	

ページ	詳細箇所	書籍の内容（誤）	変更内容（正）
98	本文下から4行目	その外径は19.4m以上	空気管の外径は1.94mm以上
99	●差動式分布型熱センサー（空気管式）の見出し	センサー	感知器
99	本文最終行	起電力によって作動する	熱起電力によって作動する
100	③の「（1）イオン化式の煙感知器」、本文下の注意書きの※1の2行目	電離している状態のこと。	電離させている状態のこと。
103	②の本文5行目	一方、個別の信号とは、	一方、固有の信号とは、
105	理解のポイント2行目	他回線	多回線
106	③の本文3行目	受信または設備作動信号を	または設備作動信号を
106	④の本文下から4行目	P型1級受信機が火災信号を受信した時は、	受信機（二信号式、アナログ式、G型を除く）が火災信号または火災表示信号を受信した時は、
108	（2）の見出し、本文1行目	発信機の構造	P型発信機の構造
122	表内「警戒区域数」の1項目め	10以上	10以下
122	表内「警戒区域数」の3項目め	50以上	51以上
126	本文最終行	・受信機および中継器の制御機能および電路感知器	・受信機および中継器の制御機能および電路、感知器
128	③の手順1	同時作業試験を行った場合、	同時作動試験を行った場合、
131	問題3の最終行（選択肢4）	金属性外箱には、接地端子を設けること	金属製外箱には、接地端子を設けること
137	「（2）遅延時間とは」の本文1行目	検知器がガスを検知してから、	検知器がガス漏れを検知してから、
137	「（2）遅延時間とは」の本文3行目	±5秒	+5秒
137	理解のポイントの図版の下	60秒±5秒	60秒+5秒
138	図「▼ガス漏れ火災警報設備の全体図」の左下	60秒±5秒	60秒+5秒
138	もう一度チェックの2行目	60秒±5秒	60秒+5秒
145	写真内文字右下	1mで70dB	1mで70dB以上
149	「（3）表示試験時の留意点」の5行目	±5秒	+5秒
149	練習問題②の解答	±5秒	+5秒
149	もう一度チェックの下から2行目	主題	出題

ページ	詳細箇所	書籍の内容 (誤)	変更内容 (正)
158	問題 10 の 1 行目、問題 12 の 1 行目	±5 秒	+5 秒
161	▼電気分野の主な単位の表の 3 行目	電流	電圧
162	①の本文 2 行目	10^6 S/m と同等かそれ以上のもの	10^4 S/m 以下のもの
162	②の本文 2 行目	10^6 S/m と同等かそれ以上のもの	10^6 S/m 以上のもの
165	③本文 1 行目	伝熱線や電気負荷など、	電熱線や電気負荷など、
165	練習問題の②の解答	×	○
166	リード 2 行目	必要される	必要とされる
170	①本文 5 行目	抵抗率 (物質固有の抵抗) ρ	抵抗率 (物質固有の抵抗) ρ
170	①本文 6 行目	数式で表すと、 $R = \rho \times \ell \div s$ です	数式で表すと、 $R = \rho \times \ell / s$ です
173	もう一度チェックの 1 行目	直流回路	直列回路
174	リード 1 行目	起き	おき
175	②の計算式	$R_2 / R_1 = R_x / R_3$	$R_3 / R_1 = R_x / R_2$
194	練習問題①の 2 行目	回路全体の抵抗は、抵抗 ² =コイル ² ×コンデンサー ²	回路全体の抵抗の 2 乗は、抵抗 ² + (コイルの抵抗-コンデンサーの抵抗) ²
195	図の凡例	線電流 (A)	線電流 (A)
203	問題 1 抵抗率を表す ρ	ρ	ρ
208	問題 1 抵抗率を表す ρ	ρ	ρ
222	(3)の見出し	差動式分布型熱感器 (空気管式) の部品	差動式分布型熱感知器 (空気管式) の部品
226	▼P 型 1 級発信機の構造の図内文字	押しボタンスイッチ	押しボタン
228	問題 2 の 1 行目	電線の配管工事	電線管の配管工事
238	問題 6 の A の試験内容	作業試験	作動試験
245	表内「煙感知器」の「摘要」	逆光部	送光部
249	図版右下、湯沸室の右辺	7	8
254	ページ中央の図の下辺	18m	48m
255	図版左、WC の左辺	1	1.25
256	ページ上部の図版の左、WC の左辺	1	1.25
256	ページ下部の図版の凡例の備考	逆光部	送光部
260	▼P 型 1 級、▼P 型 2 級それぞれの表の注	600V2 ビニル絶縁	600V2 種ビニル絶縁
267	図のキャプション	一斉鳴動	非蓄積式
273	図版の最上部の横幅表示	15m	20m

ページ	詳細箇所	書籍の内容 (誤)	変更内容 (正)
280	図版の最上部の横幅表示	15m	20m
280	図版内の機器収容箱	※内部の記述なし	変更 (内部の記述あり)

p. 280 の図を以下の図に変更をお願いします。

